

主管課長	補助金等 審査委員	課長補佐	係長	係

別記様式第1号（申請）

申請日を記入

令和5年5月6日

邑楽町長 金子 正一 様

団体の所在地及び申請者
(代表者)の氏名を記入

団体印を押印

申請者 住所 群馬県邑楽郡邑楽町中野2570-1

氏名 邑楽町元気会
会長 邑楽 太郎



規約に記載されている呼称を記載
例)この団体は「邑楽町元気会」という。

(団体の場合は住所、団体名、代表者の資格、氏名)

令和5年度補助金等交付申請書

令和5年度において、補助金等の交付を受けたいので、邑楽町補助金等に関する規則第3条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

「邑楽町協働のまちづくり活動支援事業」を
事業名の前に入れて記入

記

どのような目的でどのような事業を行うかを
簡潔に記入

1 補助事業等の名称	邑楽町協働のまちづくり活動支援事業 邑楽町健康元気教室 (〇〇事業) ←カッコ内は要綱該当事業種別を記入
2 補助事業等の目的 及び内容	町民の健康寿命を延ばすため、町内の公園等で健康体操を行う。
3 事業等の完了の予定 期日及び実施計画	令和5年6月1日から令和5年12月31日まで
4 交付申請額	50,000円
5 申請額の算出方法	別紙のとおり
6 補助事業等の経費の 配分及び使用方法	別紙のとおり
7 補助事業等の総事業費 と財源構成見込	<p>総事業費 <u>110,000円</u></p> <p>町補助金 50,000円 国庫補助金 県補助金 他団体補助金 その他 自己負担金 60,000円</p>

事業の実施期間を記入

備考 補助金等の内容については、必要に応じて工事設計書・図面等を添付し、その

総事業費→事業にかかる総額を記入
 町補助金→4. 交付申請額を記入 <総事業費—町補助金=自己負担金>
 個人からの協賛金はその他、他の団体（例えば行政区）からの協賛金は他団体補助金へ算入

事業計画書

ふりがな	おうらまちげんきかい
団体名	呂楽町元気会
事業名	協働のまちづくり活動支援事業 呂楽町健康元気教室（地域福祉の充実及び地域住民の健康づくりに関する事業）
実施期間	令和5年6月1日～令和5年12月30日
事業の目的	昨今、高齢者社会においては健康寿命の延伸が求められている。
	また、健康は若い時からの生活習慣にも大きく関係している。
	そこで、呂楽町民の老若男女がだれでも参加できる早朝の時間帯に
	講師を招いて定期的にエクササイズを行う。
	今回の事業は、定期的なエクササイズを行うことで、いつまでも元気
	なからだでいられる習慣をつくることを目的とする。
事業内容	1. 事業実施場所
	おうら中央多目的広場
	2. 事業内容・方法
	月2回 第1・3月曜日 午前6時～
	第1月曜日は外部講師、第3月曜日は会員が講師となる
	内容：ラジオ体操、ヨガ、ストレッチ、ジョギング等
	3. 事業の対象者
	呂楽町民
	4. 目標又は期待される効果
	定期的な健康づくりの習慣を身につけることで、いつまでも元気に
	暮らせる町民が増えることを目標とする。また、介護負担の軽減や介護
	給付の抑制にも繋がることが期待される。

事業収支予算書

<収入>

科 目	金 額 (円)	備 考
補助金交付申請額	(A) 50,000	協働のまちづくり活動支援事業
寄付金・協賛金	5,000	会員協賛金
事業収入(参加料等)	10,000	外部講師の回 参加料100円/人
自己資金	45,000	元気会会計
収入合計額	(B) 110,000	

<支出>

科 目	総事業費 (円) ①	①のうち 補助対象経費 (円)	備 考
原材料費	10,000	10,000	参加者タオル代
通信運搬費			
燃料費 ※1			
保険料	10,000	10,000	参加者保険代
報償費 ※2	30,000	25,000	講師謝礼
使用料及び賃借料			
印刷製本費	40,000	40,000	チラシ等
食糧費 ※3	10,000	10,000	延100人お茶代
消耗品費	5,000	5,000	コピー用紙代
備品購入費 ※4			
事務費	5,000	5,000	記録写真代
その他			
支出合計額	(C) 110,000	(D) 105,000	

- ※1 燃料費の補助対象経費は、申請団体の構成員が提供する車両又は機械に係るものは除くこと。
 ※2 報償費の補助対象経費は、申請団体の構成員に支払うものは除くこと。また、当該補助対象経費は、講師等1人当たり日額1万円を限度とし、その総額は要綱別表に定める当該補助対象事業の補助金限度額（以下「補助金限度額」という。）の2分の1に相当する額を限度とする。
 ※3 食糧費の補助対象経費は、参加者1人当たり500円を限度とし、その総額は補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。
 ※4 備品購入費の補助対象経費は、行政区掲示板の設置及び修繕に関する事業、ごみ集積所の設置及び修繕に関する事業及び安全で安心な地域づくりに関する事業に係るものに限る。また、その総額は、補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。

担当課処理欄

収入合計額 (B) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 110,000 円 </div>	=	総事業費支出額 (C) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 110,000 円 </div>
補助金交付申請額 (A) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 50,000 円 </div>	≦	総事業費支出額のうち補助対象経費 (円) (D) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 105,000 円 </div>

※ (A) は5万 (10万) を上限とする。

主管課長	補助金等 審査委員	課長補佐	係長	係

別記様式第3号（実績報告）

提出日を記入：
事業終了後1月以内又は令和5年度末のいずれか早い日までに提出

令和6年1月10日

邑楽町長 金子 正一 様

団体の所在地及び申請者
(代表者)の氏名を記入

団体印を押印

申請者

住所 群馬県邑楽郡邑楽町中野2570-1

団体名 邑楽町元気会

氏名 会長 邑楽 太郎

規約に記載されている呼称を記載
例)この団体は「邑楽町元気会」という。

(団体の場合は住所、団体名、代表者の資格、氏名)

会元邑
長気楽
印会町

令和5年度補助金等事業実績報告書

令和●年●月●日付け邑楽町指令総第●●号をもって補助金等の交付の決定通知を受けた事業が完了したので、邑楽町補助金等に関する規則第13条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

交付決定通知に記載されている通知日を記入

交付決定通知に記載されている交付番号を記入

1 補助事業等の名称	邑楽町協働のまちづくり活動支援事業 邑楽町健康元気教室 (〇〇事業) ←カッコ内は要綱該当事業種別を記入	
2 補助事業等の経費の配分及び使用の精算額	別紙のとおり	
3 補助事業等の実施期間	令和5年6月1日から令和5年12月31日まで	
4 補助事業等の成果	別紙のとおり	
5 補助事業等の総事業費と財源構成額	総実施事業費	110,000円
	町補助金	50,000円
	国庫補助金	
	自己負担金	60,000円

例) 交付決定通知に記載されている通知日と最後に取引した領収書の日付を記載

備考 補助金等の成果については、必要に応じて工事設計書・図面等を添付し、その

総事業費→事業にかかる総額を記入

町補助金→交付決定額を記入 <総事業費－町補助金＝自己負担金>

※ 個人からの協賛金はその他、他の団体（例えば行政区）からの協賛金は他団体補助金へ算入

団体の構成員名簿

団体名 邑楽町元気会

No	氏名	住所 (町内在住者は大字から記入可)	職業	年齢
1	邑楽 太郎	邑楽町中野10	無職	50
2	中野 次郎	邑楽町中野20	会社員	60
3	篠塚 花子	邑楽町篠塚30	団体職員	30
4	秋妻 一郎	邑楽町秋妻40	教員	40
5	館林 城美	館林市城町10	学生	20
6	団体の構成員は5人以上且つその半分以上が邑楽町民である必要があります。ここでは、5人のうち1人だけ町外者なので、要件に該当しています。			
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

※記入欄が不足の場合は増刷してください。

事業報告書

ふりがな	おうらまちげんきかい
団体名	邑楽町元気会
事業名	協働のまちづくり活動支援事業 邑楽町健康元気教室（地域福祉の充実及び地域住民の健康づくりに関する事業）
実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和5年12月30日
事業の成果	今回、高齢者から若い世代まで多くの参加があった。段々と参加人数
	も増え、毎回参加する顔ぶれも増えた。多様なエクササイズを行った
	ことで、参加者も飽きることなく体を動かすことができ、終了後も自主
	的に更なる運動をする参加者も多く見られた。
事業内容	1. 事業実施場所
	おうら中央多目的広場
	2. 事業内容・方法
	月2回 第1・3月曜日午前6時～計12回（2回天候により中止）
	講師 オウラヨガ教室〇〇氏、アケノジョギング協会●●氏
	3. 事業の対象者
	邑楽町民 延べ200人
4. 活動の反省や課題	
エクササイズの内容によって、高齢者がやりにくい運動があったので	
改善していきたい。また、参加者の中でも講師ができそうな方がいたの	
で、今後一緒に活動出来る人を募り広く展開していきたい。	

事業収支決算書

<収入>

科 目	金 額 (円)	備 考
補助金交付申請額	(A) 50,000	協働のまちづくり活動支援事業
寄付金・協賛金	5,000	会員協賛金
事業収入(参加料等)	10,000	講師の回 参加料100円/人
自己資金	45,000	元気会会計
収 入 合 計 額	(B) 110,000	

<支出>

科 目	総事業費 (円) ①	①のうち 補助対象経費 (円)	備 考
原材料費	10,000	10,000	参加者タオル代
通信運搬費			
燃料費 ※1			
保険料	10,000	10,000	参加者保険代
報償費 ※2	30,000	25,000	講師謝礼
使用料及び賃借料			
印刷製本費	40,000	40,000	チラシ等
食糧費 ※3	10,000	10,000	延100人お茶代
消耗品費	5,000	5,000	コピー用紙代
備品購入費 ※4			
事務費	5,000	5,000	記録写真代
その他			
支 出 合 計 額	(C) 110,000	(D) 105,000	

- ※1 燃料費の補助対象経費は、申請団体の構成員が提供した車両又は機械に係るものは除くこと。
- ※2 報償費の補助対象経費は、申請団体の構成員に支払ったものは除くこと。また、当該補助対象経費は、講師等1人当たり日額1万円を限度とし、その総額は要綱別表に定める当該補助対象事業の補助金限度額（以下「補助金限度額」という。）の2分の1に相当する額を限度とする。
- ※3 食糧費の補助対象経費は、参加者1人当たり500円を限度とし、その総額は補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。
- ※4 備品購入費の補助対象経費は、行政区掲示板の設置及び修繕に関する事業、ごみ集積所の設置及び修繕に関する事業及び安全で安心な地域づくりに関する事業に係るものに限る。また、その総額は、補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。

担当課処理欄

収入合計額 (B) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 110,000 円 </div>	=	総事業費支出額 (C) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 110,000 円 </div>
補助金交付申請額 (A) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 50,000 円 </div>	≤	総事業費支出額のうち補助対象経費 (円) (D) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 105,000 円 </div>